

拓水

三菱石油流出油 特集号 No. 220

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区新在家町 123
山田岸松
TEL 671-6685・681-6954
編集 拓水編集委員会
一部 10円

三菱石油流出事故対策の経過と概要

流出重油淡路南部に被害



三菱石油水島製油所重油流出事故により、兵庫県、淡路島、単協、系統、団体は一日も早く我々の生産の場である瀬戸内海を元の海に戻すのに、日夜油にまみれてとらわれています。事故発生後、ただちに(県漁連)は、現地の丸山漁協に対策本部を設置し、監視・除去・防止等の海上及び陸上作業の事故対策にあたった。

県漁連対策本部の活動

- 十二月十八日 三石水島製油所において事故発生
- 十二月二十日 油情報収集及び通報
- 十二月二十一日 各漁協にのり網を沈める等の措置を指示すると共に職員警成体制をしく
- 十二月二十二日 現地对策本部等設置、職員二名の現地派遣及び水島事故現場に調査員派遣
- 十二月二十五日 航空機による流出油の拡散状況視察・監視のため

(本部長山田岸松県漁連会長)

- 十二月二十三日 神戸海産物、神港魚類入り入荷停止の報入手
- 十二月二十四日 県漁連会長名をもって三石に要望書提出
- 十二月二十五日 県漁連会長名をもって県に陳情書提出
- 十二月二十五日 役員・公害対策委員(内海側)の緊急合同対策会議

乗飛行開始
十二月二十六日 会長、現地対策協議のため現地視察

十二月二十七日 会長、前日に引続き被害現地視察・年末資金貸付事務開始



十二月二十八日 正副会長、委員長、今後の作業等について協議(出席者、会長、酒部副会長、岩城副委員長)

十二月二十九日 農林大臣に流出油対策並びに漁業被害救済対策について陳情(於高松市)(出席者、会長、農林部長、外三名随行)

一月五日 会長・酒部現地対策本部負担する。油回収作業に全力尽す等申し合わせ

一月六日 関係組合長会議開催、油回収作業計画検討及び中和剤使用禁止を三石に確約させた。又、休業について協議

一月七日 自民党対策本部に四県漁連合同陳情

一月八日 関係四県漁連会長会議(於東京)

一月二十四日 三石側対兵庫県対策本部と被害対策について協議(会長、酒部副会長、県)

一月二十八日 西淡町、丸山漁協、三石三者会談油回収に沿岸油回収について協議

十二月二十五日 油回収作業に漁船出動

十二月二十九日 南淡・沼島休業開始

一月九日 県漁連現地对策本部の役員・委員、職員、同乗飛行開始

十二月二十六日 会長、現地対策協議のため現地視察

十二月二十七日 会長、前日に引続き被害現地視察・年末資金貸付事務開始

十二月二十八日 自民党(衆)調査団が視察、漁民と対談、西淡、南淡両町漁協、〇〇隻、日出漁船に油回収作業に出動十二月三〇日、一月四日、情報収集のみを行なう。

十二月二十七日 関係組合長会議、越年資金、水質調査、被害確認について協議

一月五日 関係組合長会議六日以降の試験作業について、油質調査開始(南淡、沼島)

十二月二十八日 徳島本部と油回収問題について協議

一月七日 福長に於て漁獲物の感度テストを行なう。(結果、異常なし)

一月七日 酒部本部長宛にワカメ養殖業者より陳情書を受け確認

一月九日 ポリビン等により、標識放水調査を実施

一月十日 動物産、他四名の仲買人と被害について協議

十二月三十日 関係組合長会議、三石石油の合同会議、年末年始の体制を協議

十二月三十一日 「ハヤブサ」三石監視船は十二月三十一日、一月一日まで監視体制には

我々が今なすべきことは?

県漁連現地对策部長 酒部 寛三 談

丁度12月19日が県漁連の役員会であった。「エライコッチャ、鴨門まで来るだろ」と云う冗談が現実の姿になって来た。十二月二十二日末明、福良、丸山、ナガの漁船による流出油の調査が始ったその日、兵庫県漁連の現地对策本部を設け、私が本部長に任命された。それから、いまだかればならないが、油回収作業は、私たちが正月を返上、油対策に走りまわった。

見えて驚いた。いったい、い

これらの正常回復が出来たかどうか等いろいろと、とまどいを感ぜながらの進歩した世の中で、油がいろいろの分野での特長、秀れた性能を發揮して、生じたヤンシー号の事故、性、魚を取らずに戦時中の竹やり職術のようにヒヤンク作戦で油ととりまわす。至っては12月23日をさかいて、出来うるかぎり海を元に戻し漁業者本来の操業を早く再開する事だと説得している。

たがむしやに暗中模索の中をひたすら回収作業にあたった結果、一月五日南淡町で初めての試食会ですら頭の上を生きる者が海にたぐりだすのが、復した。我々が海で生活したたか、異臭がし、その後十数回の試食会も無事終った。たがむしやに、復した。我々が海で生活したたか、異臭がし、その後十数回の試食会も無事終った。たがむしやに、復した。我々が海で生活したたか、異臭がし、その後十数回の試食会も無事終った。

余裕馬力の差が 大漁をお約束します

新発売

- 内海沿岸漁業に最適 M3G=30馬力 1400回転
- 内海沿岸の底引きに最適 3GC=農林15馬力 1200回転

ゆたかな人間環境つくり

久保田鉄工

久保田鉄工のボクサマシナディーゼル

本社 大阪府大阪市東淀川区西中島 2-1-1
電話 259-4400

支店 東京 中央区新富町 2-1-1
電話 556-2500

支店 名古屋 中区栄 3-1-1
電話 222-1111

支店 京都 下京区東本願寺町 1-1-1
電話 342-1111

支店 福岡 中央区東本町 1-1-1
電話 242-1111

支店 札幌 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 仙台 青葉区中央 1-1-1
電話 232-1111

支店 新潟 中央区西通 1-1-1
電話 232-1111

支店 金沢 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 富山 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 石川 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 福井 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 滋賀 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 岐阜 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 愛知 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 三重 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 奈良 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 和歌山 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 徳島 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 高松 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 松山 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 高知 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 香川 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 愛媛 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 高松 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

支店 高松 中央区南一条西 1-1-1
電話 232-1111

悪夢の12月

二十三日朝鳴門海峡へ

『黒い帯』淡路南部を直撃

12月18日 岡山県倉敷市 三菱石油水島製油所貯留タンクキ裂事故で水島第一帯に流れ出した原油は二十朝になって、備讃瀬戸を中心に大きく広がり拡散するとともに県下淡路南部に向つた。

12月21日、淡路へ向かいとめる敵戒体制に入る。12月22日 鳴門海峡に流れ込む。養殖のり、ワカメ、ハマチ、などの漁場に大打撃を与えるのは確実、深刻な事態になる。

12月23日、二十三日夜鳴門海峡に侵入した重油の帯は二十三日未明から速い潮流に乗って海峡全体に広がって、一面薄油帯と粒状の油の塊が海峡と、海峡の西側にあたる、三原郡西島町阿那賀、丸山、伊島の各漁港に沿うように押し寄せた。さらに海峡の東側にあたる福良湾にも入りこんだ。このため汚染の範囲は南淡町阿那賀海岸にまで及んでおる。阿那賀などには油帯が漂着午後になって茶かっしよくの色ベトリしたタテ状になった重油が急に増え、養殖場に広がる。

12月24日、淡路南西海面に拡散。40名の水面をおおう。12月25日、紀井水道中央部まで広がる。

12月26日、瀬戸内海一帯に漂っていた重油は大部分瀬戸内海沖合から四国北岸に漂着し、海岸線から沖合2キロまで茶かっ色の油でうめつくされた所もある。

12月28日、鳴門海峡から紀井水道に流れた重油はさらに南下、徳島県小松島市山崎の沖合東約8キロ、鳴門からは22キロ海域まで到達している。

12月29日、鳴門海峡を中心とする浮流、香川、徳島、阿波の沿岸に多く漂着。

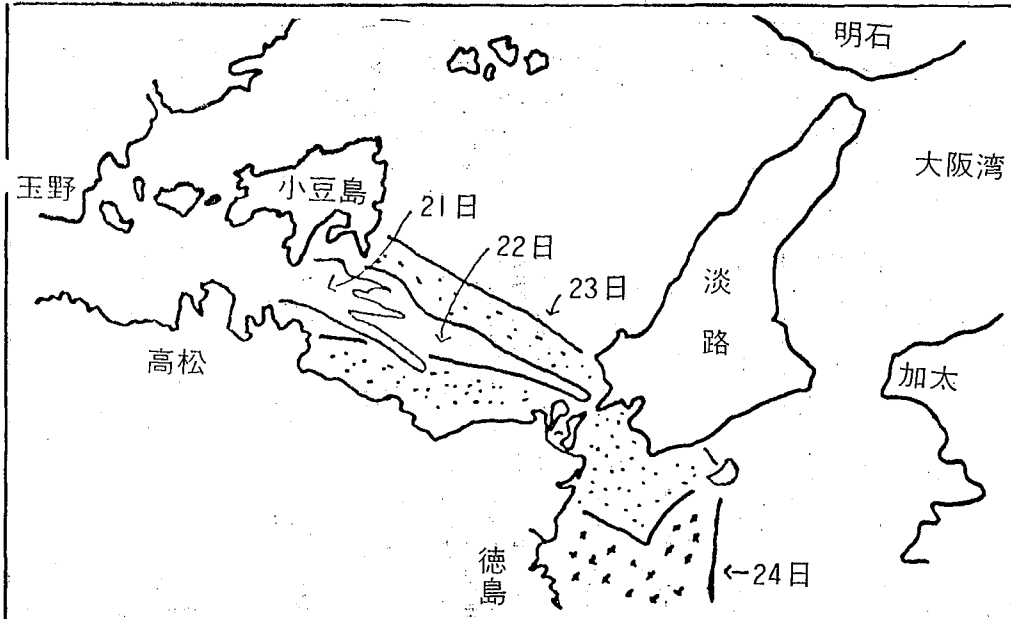
12月30日、淡路島南岸に沿って北東にのび薄油の帯が鳴門海峡入口から大迫湾入口の友ヶ島水道まで迫った。

大阪湾内に流れ込む恐れもあるとして警戒。

12月31日、紀井水道では鳴門海峡南から徳島県小松島港東十キロまで海く広がる。

1月1日、新しい重油帯が備讃瀬戸、小豆島方面から徳島県沖の讃岐沖にかけ、中十二十三キロ濃度中程度の流出油が鳴門海峡に

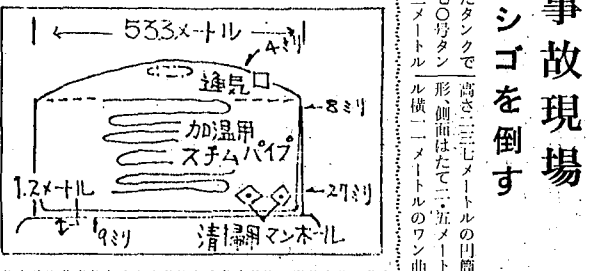
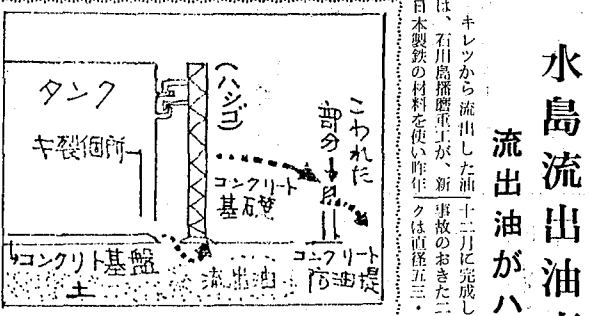
1月3、4日、鳴門海峡周路、瀬戸内海沖合をうかがう。1月3、4日、鳴門海峡周路、瀬戸内海沖合をうかがう。



水島流出油事故現場

流出油がハシゴを倒す

ケレンから流出した油は十二月に完成したタンクで、高さ三七メートルの円筒形、側面はたて二五メートル、横一メートルのワン部日本製鉄の材料を使い昨年クは直径五三・三メートル



沈めたのり、も全部水面下まで汚染

流出油が海面を通過するまで水面下に沈めれば安全として各漁協は、養殖のりを沈めた油の沈下により汚染された。撤去されるのり

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチョッパーで

養魚用ミートチョッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チョッパーで給餌することもできます。

(脚一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチョッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通3丁目8
TEL:代表神戸(078)62-1527

海上電機が皆様にご贈る新製品
小型漁船からレジャーボートに衣漁が一人増えました
これからの海には是非お供させて下さい

フィッシュパイロット
Z-1・マークII
中型、大型も各種取揃えています

海上電機株式会社
神戸市生田区明石町32 電話 391-4301

船舶主機用3-1200馬力 船舶補機用3.5-1200馬力

**底曳漁業の省力化に
たくましい力を**

ヤンマーディーゼル

3ME15形 (15馬力) 3M15形 (15馬力) 2ES15形 (15馬力)

ヤンマーディーゼル株式会社

本社:大阪府北区東成町62 電話:06-530-2777
支店:札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・広島・福岡